



湾岸・アラビア半島地域ニュース

クウェイト：国際ハンドボール連盟の決定に対するクウェイト側の反応 (1月22日付アルワタン紙)

20日、ジヤーブ (Ahmed Bader Al-Zeyab) アジアハンドボール (AHF) 連盟会計担当理事は、北京五輪のハンドボール・アジア予選のやり直しに関して会見を行った。

1. アジア予選のやり直しに関する国際ハンドボール連盟 (IHF) の決定は、「面白い冗談」である。アハマド AHF 会長は、本件決定には完全に反対しているにも関わらず、IHF から送付された書簡には同会長も本件決定に参加したとされている。
2. アハマド会長は、英国とスイスの弁護士に AHF の立場を代弁するよう委託し、弁護士は IHF の協議を踏まえ国際法廷で法的手続きを開始している。
3. IHF の本件決定の目的は、韓国チームを欧州諸国と対戦させることなく、直接北京五輪に出場させることにある。北京五輪の第2予選に出場する12チームは4チームずつ3グループに分けられ、各ブロックの1位と2位が五輪出場権を獲得する。これら6チームに既に五輪出場権を獲得した他の6チーム (アフリカ、欧州、アジア、ラテンアメリカ、中国主催国、独 世界選手権優勝 の各代表) をあわせた計12チームが、最終的に北京五輪に参加する。これが適用されれば、アジア1位のクウェイトはそのまま五輪出場、2位の韓国は、ラテンアメリカ代表、ポーランド、デンマーク、フランス、クロアチア、ロシア、スペインとともに第2予選に出場することになる。
4. (AHF は29~30日に予定されるやり直し予選に出場する日本と韓国に制裁を課すのかと質され) 本件は、27~28日に予定されているアハマド会長が議長を務める AHF 会合で協議される。
5. 試合の様子が撮影されなかったことを理由に、IHF が女子予選についてもやり直しを決定したことには、驚きを禁じえない。審判員をドイツ人に代えてヨルダン人にしたことについても、1ヵ月半も前に、AHF は IHF に審判員リストを送付し、IHF はこれを許可している。AHF は、審判を任命する権限が付与された機関である。またフランス・ドイツ間で争われた先の世界杯の女子決勝でフランスに不利となった事例など、IHF が監督する大会であっても、しばしば誤審が行われている。

<参考> IHF は、29日に女子、30日に男子の各1試合を、東京・国立代々木競技場で行うことに決めた。出場国は男女とも日本と韓国の2ヵ国のみで、男女とも勝ったチームが五輪出場権を獲得することになっている。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799